



三和中だより

蒼き魂

自ら学び 自ら考え 協働できる 心豊かな生徒の育成

*いじめ、体罰・セクハラ相談窓口 TEL: 0847-85-4511 (山根教頭・藤田教諭・各担任)

◆ 3学期のスタートです

1月7日(火)、新しい年を迎え、3学期の始業式を行いました。新年のスタートに当たり、学校長からは、メジャーリーグの大谷選手の活躍を踏まえ、目標設定の大切さについて「目標があるからこそ、その目標に向かって何を、どのように取り組むことが出来るのか、考え、行動できる。自分に合った目標を設定して成長していこう。」と話がありました。それぞれが立てた目標に向かって、自ら考え、判断し、行動することにより、各学年のまとめと、そして次のステージへ向かう学期となることを期待しています。



◆ 次世代議会で、提言を述べました

12月24日(火)、令和6年度次世代議会議場が開かれました。3年生から2組が代表して提言を述べました。

一つ目の提言は、「子育てしやすいまちづくり」に向け、子育て支援の充実とともに暮らしやすさの向上への取組について述べました。具体的には、町の店舗継続に向け、店舗経営後継者の募集や取組について質問をしました。

二つ目の提言は、神石高原町の活性化に向け、生徒たちが総合的な学習の時間で実際に取り組んだイルミネーションの設置や川掃除の体験を踏まえた内容でした。現在、活動されている青年会への支援の具体や川掃除の参加を促すアダプト制度についてなどの質問をしました。2組とも、町長さんをはじめ各課の課長さんの前で堂々と発表できました。答弁に対しても質問を切り返すなど、日ごろの授業での学びをしっかりと発揮することができたと思います。



自分たちの考えや意見について、体験や理由などを踏まえながら、分かりやすく発表することができました。

謹賀新年

謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新年を迎え、気持ちも新たにスタートしています。

特に寒い日が続いていますので、気持ちも身体も引き締まる清新な時間・期間です。

やはり、節目が大切だとつくづく感じています。12月と1月でたったの数日しか変わらないのに、気持ちの変化があります。そういった時期の節目を活かして、気持ちや目標をリセットして新学期のスタートを切っています。

久しぶりの学校では、友達とのふれあいを喜び合う姿が多く見られました。

人との直接的なふれあいから、愛着や人間関係の構築、豊かなコミュニケーションなど…学習以外で学ぶこと、身につけていくことがたくさんあります。また、人の気持ちに気づいたり、誰かのために何かをしたりするという貢献意欲や献身性といったものも集団の中で育っていくものだと感じています。

子供が自立できるように、そして適切な社会性を育ていけるような、そんな学校であるよう今年も、三和中学校は挑戦し、前進して参ります。引き続き、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

三和中学校長 辻 雅人

◆ 第26期生徒会本部役員が決定しました



常に良き手本だった3年生本部役員の皆さん、本当にお疲れ様でした。

生徒会役員選挙後、各種委員長の立候補者面接を経て、第26期生徒会本部役員9名が決定しました。12月23日(月)の2学期終業式後、新生徒会長から各委員長6名に任命証が渡され、いよいよ学校のリーダーのバトンが3年生から2年生に引き継がれました。新生徒会のもと、新たなスローガンとともにいよいよ活動が始動します。先輩たちから受け継いだ伝統を守りつつ、どのように発展させるのか、今後の活躍が楽しみです。また、生徒の皆さんは、その一員として何ができるか真剣に考え、案を出し合い、協働しながら、創造していきましょう。三和中学校の新たな歴史を刻んでくれることと期待しています。



新生徒会本部役員が決定しました。今後の活躍を期待しています。

◆ 各学年において、「探究的な学習」に取り組んでいます

各学年では「総合的な学習の時間」において、神石高原町の魅力や課題について理解し、地域貢献を目指し、探究的な学習を進めています。

1年生のあるグループでは、「地域の人に町がきれいになったと認められる」というゴールを設定し、実際に町のゴミ拾いの活動を行いました。また、その体験の様子について、学級で発表したのち、もう一度ゴミを拾い、その種類の違いから解決策を見いだそうとしていました。



実際に道路などに落ちているゴミを自分たちで集めました。



相手に分かりやすく伝えるよう工夫しながら発表しています。

2年生のあるグループでは、1年生の時、特産物である「神龍味噌」を生かすための学習活動に取り組んできました。その成果として、生産者とともに献立を考え、給食のメニューとして提案してきました。その結果、その献立が12月の神石高原ランチメニューとなり、小中学校の児童・生徒のみなさんに、「神龍味噌」の味わいとおいしさを紹介することができました。

今後も、探究的な学習を通し、地域をつくる担い手として、自分たちがどのように関わればよいのかしっかりと学びを深めていきましょう。

今日の神石高原ランチは、神龍味噌を使ったかぼちゃの味噌汁です。皆さんは、神龍味噌について知っていますか？神龍味噌は神石高原町唯一の味噌蔵で、「ヒット商品よりロングセラー」をモットーとしている、70年以上にわたり受け継がれてきた歴史ある味噌です。神龍味噌の一番の魅力は、出汁がなくても美味しい味噌汁になることです。その秘密は、伝統的製法にあります。手間暇かけて手作業で作られた糀と材料を混ぜ合わせ、150年もの歴史がある木桶でじっくり天然熟成させることで、旨味が凝縮された味の濃い味噌が出来上がります。また、天然熟成させているので、どこの部分も味が違う一期一会の味噌になります。

今日の献立にある味噌汁は、昨年、三和中学校2年生4人が神龍味噌を作られている門田さんご夫婦と一緒に考えたものです。冬至にかぼちゃ汁を食べると風邪をひきにくいことと、神龍味噌のおいしさを神石高原町の生徒の皆さんに知ってもらいたいという思いから、この献立にしました。かぼちゃの甘さが神龍味噌の味を引き立たせる一品となっています。ぜひ、神龍味噌の一期一会のおいしさを味わってください。

～生徒による紹介より～



1月に入り、受験シーズンとなりました。

そんな中、面接練習では、自分の考えや思いを懸命に伝えようとする生徒の熱意を強く感じています。相手に理解してもらうために、「何を、どのように」自分の言葉で伝えるのか。今後、より求められる「表現する力」を大切にしたいと思っています。

～ひとこと日記～

